社会福祉法人
日本キングス・ガーデン

「常総ふれあいの杜」広報誌　No.15　2012年　春号（季刊）

ふれあい通信

常総広域障害者支援施設
『常総ふれあいの杜』
常総市大生郷町1880番地
Tel　0297−27−5016
Fax　0297−27−5045
www.kings-garden.or.jp
発行責任者　藤原裕也
編集員　広報委員会

一人ひとりの輝き

理事長代理　宇都宮和子

「ふれあいの杜」も六年目に入り、ご利用者の表情も一人ひとり活き活きと輝いています。

Tさんはフリスビーの大会に向けて、一生懸命に練習、競技当日は、応援している私たちの方がドキドキしてしまいました。メダルを胸に穏やかな笑顔でVサインです。

今、「ふれあいの杜」のご利用者は生活の「活」の部分がとても充実しています。

リハビリ、野菜つくり、お菓子つくり、ガーデニング、作品つくりや、色々な行事にも積極的に参加、個々の出来る事に真剣に取り組み、その人らしい生活を楽しんでいます。時にはハプニングもありますがご家族のご理解と各市町村のご協力により、一つとなって運営できることは本当に感謝です。

四月には三名の新たなスタッフも与えられました。「福祉は人」これからもご利用者を中心に、職員の輪の中で支えていきます。

スナップフォト

ゆうあいピック

晴天に恵まれ、笠松運動公園にてゆうあいピックが開催されました。当日は興奮のあまり朝早くに起きてしまったご利用者もおられました。

私たちは白組に所属し、五つの種目に参加しました。その中でも一番盛り上がった競技は各組対抗リレーです。私たちの施設からは三名のご利用者が代表として走りました。一生懸命走りましたが、結果は惜しくも四位で悔しい結果になってしまいました。でも、とてもいい思い出になったことと、思います。グラウンドを笑顔で走り回っている姿を見ると、日ごろのストレスを解消できたのではないでしょうか。今大会は数年ぶりに晴れたということもあり、皆さん肌を真っ黒にして帰ってきました。

施設に着いてからも、「ああ〜、楽しかった。来年も楽しみだね」と声を高ぶらせていたご利用者もおられました。ぜひ来年も皆さんの笑顔が見られることを期待します。

（齊賀勝之）

※ボランティアに感謝します。　喫茶／安部辰美様、井出幸枝様、須田晶子様、高橋和子様、中山小夜子様、安田春江様　音楽／山田国昭様

備えあれば…

防災委員

「備えあれば憂い無し」

　という言葉を、私たちはよく耳にしますが、この言葉ほど防災の極意をわかりやすく表現した言葉は他にないと思います。

　毎月一度、私たち職員とご利用者の皆様は、一丸となって昼間想定の避難訓練を実施し、その都度すばらしい所要時間（五〜十分程度）で避難を成功しています。この事実は、まさにこれ以上に無い備えに他なりません。その他にも夜間や地震、無断外出を想定した訓練も行っています。これからも、よりよい避難訓練を行えるように、日々努めます。

（渡辺充）

美味しく食べて歯磨きしよう

口腔ケア委員

「口腔ケアは食べる為だけでなく、健康に重要である」この言葉を常に心がけて、食後の歯磨きケアを行なっています。使用する歯ブラシやコップ、義歯ケア用品チェックも定期的に実施するようにしています。

　また、新しく歯科衛生士等によるブラッシングや舌、義歯のケアの講習や、歯科検診も歯科医師との検討をしております。決まりましたら報告しますのでよろしくお願い致します。

（張替弘子）

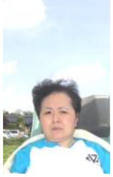
ＫＧ大運動会

　五月三十日快晴の中、四施設合同の運動会が開催されました。ふれあいの杜からはお菓子取り競争とリレーに参加しました。みなさん普段見られない表情でとても楽しまれていました。

　赤組と白組で点差が開いていましたが最終種目のリレーに勝った方の組が優勝するという場面になり、両チーム共にとても気合が入っていました。ご利用者と支援員の、選抜メンバーにより競技は白熱し、点数で負けていた赤組が意地を見せて競り勝ち、劇的な展開で見事逆転優勝をしました。みんなの真剣な眼差しがとても印象的でした。

　けが人もなく無事に運動会を終え、何人かのご利用者から「楽しかった。またやりたい。」との声が聞け、嬉しかったです。

（磯部隆博）



いざという時でも

栄養士

　震災の影響もあり、最近は非常食への関心が、高まっています。ふれあいの杜でも状況に応じて対応出来るように色々な種類の非常食を用意しています。

　一般的には高カロリーの肉や魚料理だけになりがちですが、水分不足にならないよう、味噌汁で野菜や水分を補ったり、非常食に飽きないように、御飯だけでなく、パン食も用意しています。いざという時でも、利用者に少しでも美味しい食事で安心してもらえるように、今後も見直していきたいと考えています。

（岡田香）

さあ、活動だ！

菓子工房班

　実際に菓子を製造販売しているという事に、自覚とやる気を持ってもらう為に、タイムカードを導入しました。すぐに慣れて、始業と終業のメリハリが付きました。みんな楽しそうに一列に並んで打刻しています。これからもクッキーをよろしくお願いします。

（大澤あけみ）

日々の喜び

　ある朝、一人の女性ご利用者が、まだ閉まっている正門を開けようとされていた。ふれあいの杜は「心に鍵を」という方針のもとに、朝から夕まで開門している。言うは易し、というが実際に大変な時もあった。

　私は彼女の気が済むまで一緒に外を歩こうと覚悟し、門の鍵を開けてみた。すると彼女は重い門を開け、動かないように留め具までして、施設内に戻っていった。

　時計を見れば九時半、いつもならとっくに門は開かれている時間だ。

「心に鍵を」

　解かっていなかったのは、私の方だった。

（文倉栄一）

✍編集後記／家族会の皆様で、除草作業とベンチニス塗りをしてくださいました。晴天の中、大勢の方に参加いただき、ありがとうございました。